

上手なごみの出し方で、賢い消費者になろう。



特集 ごみ有料化、決まる。

9月議会で、家庭系のごみ処理の有料化が決定しました。12月1日から、「燃やせる、燃やせない、生、粗大」の4種類の家庭系のごみ有料となります。市では、今年春に原案を発表し、各地区での市民懇話会が出された意見をもとに、料金や袋のサイズ、粗大ごみの種別料金、生活弱者保護、あるいはごみ排出方法などを含め、最終案を9月議会に提案し、その内容が可決されました。今回の特集では、有料化の内容を紹介するとともに、わたしたち消費者がごみを減らすことで、どうしたらかしこい消費者になれるのかを考えてみました。



なぜ、有料なの？

家内 えー、ごみ有料化って決まっちゃったの？
課長 ええ、9月議会で、家庭系ごみ処理手数料を有料化することが決まりました。
家内 ちょっと、わたしの許可なしに勝手に決めないでよ。
課長 そう言われてもですね…
家内 当然、納得のいく理由を説明してくれるわね？
課長 あっ、はい。
留萌市のごみ処理システムは、「ごみを減らす」「資源としてリサイクルする」という目的

があります。燃やせるごみ（可燃ごみ）から固形燃料を作り、生ごみは堆肥を作り、資源ごみは再生してもう一度利用するという地球にやさしいシステムです。最終的に埋め立てるのは、燃やせないごみ（不燃ごみ）など一部のごみです。しかし、この処理システムには、以前と比べると大きな費用がかかります。その費用を、ごみを出す量に応じて負担していただくというのが有料化の考え方です。もちろん、全てを市民が負担するのではなく、平均的な家

庭で、一か月千円程度を目安に料金を設定し、不足分はこれまでどおり、税金でまかなうという仕組みです。



料金はいくら？

家内 ふーん、で、どのごみが有料になったの？
課長 えーと、この有料化の対象になるごみは「生ごみ」「燃やせるごみ（可燃ごみ）」「燃やせないごみ（不燃ごみ）」「粗大ごみ」です。料金は、表にしましたのでこれを見てください

【表1】
家内 あら、粗大ごみは品目別に料金が設定されているのね。
課長 はい。粗大ごみの料金は重量別にする方針だったんですが、市民懇話会で「わかりづらい」という声があったので、見直しをして基本重量を定めて、排出の多い30品目（54種類）に分けて料金を決めたいという訳なんですよ。
家内 ふーん。そういえば、今までやってきた市民懇話会の意見で、検討中だったもの、あったわよね。
課長 はい、検討中だったものは、すべて決まりました。

登場人物紹介



リサイクル課長 (48才)
留萌市のごみ担当課長。



家内 萌美 (28才)
主婦の目で、有料化をチェック。



再利用子 (45才)
留萌市内のリサイクル団体のメンバー。



井家武塚男 (65才)
EMで生ごみをリサイクルしている。

【表1】家庭系ごみ処理手数料

家庭系ごみ袋及びごみ処理券の価格		
取扱区分	単位	金額
生ごみ	指定ごみ袋1枚	6ℓ 45円
		12ℓ 80円
燃やせるごみ (可燃ごみ)	指定ごみ袋1枚	20ℓ 40円
		30ℓ 60円
		40ℓ 80円
燃やせないごみ (不燃ごみ)	指定ごみ袋1枚	20ℓ 50円
		40ℓ 100円
粗大ごみ	100円ごみ処理券	品目別に料金を設定 表2(P5)参照
	200円ごみ処理券	
	400円ごみ処理券	
	1,000円ごみ処理券	